

『偽物だと敵国に追放されましたが、どうやら本物の聖女は私のようなようです。』の最終回結末に関するアンケート調査結果

■アンケート調査概要

調査目的	『偽物だと敵国に追放されましたが、どうやら本物の聖女は私のようなようです。』の最終回結末に関するアンケート調査
調査対象	『偽物だと敵国に追放されましたが、どうやら本物の聖女は私のようなようです。』を読んだことのある10代～50代の男女5名
調査期間	2026年3月4日～2026年3月5日
調査方法	インターネット調査
モニター提供元	クラウドワークス
データ使用サイト	https://glucks-web.co.jp/manga-zenkan/nise-monodatotekikokunituihousaremasitaga/

■アンケート項目

Q1: 年代と性別を教えてください。

Q2: 『偽物だと敵国に追放されましたが、どうやら本物の聖女は私のようなようです。』の最終回の結末を予想してください。

Q1: 年代と性別を教えてください。

20代男性	0人
20代女性	0人
30代男性	2人
30代女性	0人
40代男性	0人
40代女性	2人
50代男性	1人
50代女性	0人

Q2:『偽物だと敵国に追放されましたが、どうやら本物の聖女は私のです。』の最終回の結末を予想してください。

シュヴァール王国との戦がきっかけとなり、アマリスが聖女らしい回復魔法を身に着けることになると思います。理不尽な戦に巻き込まれて傷つく兵士たちを癒しているうちに覚醒するとでもいいでしょうか。一方、カルラが偽聖女だとバレると思います。なんだかんだと聖女の杖を使っているわけではありませんし。戦争に関しては、ライズ王国にとって有利な条件で和睦をし、両国は平和に。アマリスはヴィクターと結婚して終わるのではないかと思います。

まず、妹のカルラは偽物の聖女であるはずなので、その嘘がバレるという展開があるでしょう。戦争を仕掛けるには実際に聖女の力が必要になるので、どこかでほころびが生じて破滅していくはず。そして身の丈に合わない野心を持つネイトも同様に、自身が望むようなことは叶わず、身を亡ぼす結果になりそうです。一方のライズ王国は攻められる立場ではあるものの野心はなく、アマリスやヴィクターの活躍によって国は守られ、かつ、リドナイト鉱石によって魔物からの危険も遠ざけられる結果になると思います。さらに一番気になるアマリスとヴィクターの関係ですが、過去になんらかの運命の出会いがあったことも匂わされており、やはりここは結ばれて欲しいところ。もしかすると2人ともライズ王国の重要な地位に就き、幸せで平穏な余生を過ごすような気がしますね。

本作の最終回では、まずネイトとカルラの嘘が暴かれ、アマリスが真の聖女であると民衆から認められると予想します。そしてネイトは王太子の地位から転落し、カルラは聖女を騙った罪で牢に入れられるのではないのでしょうか。また、アマリスに暴行を加えていた義母の行方も白日のもとにさらされ、父親もそれを看過していたことが裁かれると思います。そしてアマリスはヴィクターと結ばれてハッピーエンドを迎えるでしょう。

自国は義妹と婚約者が共倒れで自滅してしまって、隣国がその土地も手に入れてどちらの人たちも平和に幸せになるのではないのでしょうか。ヒロインはヴィクターと愛をはぐくみ、かわいい子供たちが次々と生まれていつまでも幸せに暮らしていくはず。

物語は、追放された主人公が敵国で真の力を覚醒させ、両国の争いを止める鍵となる展開が濃厚です。帰国後は偽物とされた過去の誤解が解け、王国は彼女を正式な聖女として迎え入れる流れになりそうです。陰謀の首謀者も暴かれ、彼女は自らの意思で進む未来を選び、平和の象徴として新たな役割を担う結末を予想します。

漫画全巻の部屋

by (株)グリュックス